

## デザイン教育研究会のおしらせ 2012-vol.1

事務局 日本デザイン専門学校 金子武志  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3  
TEL03-3356-1501 E-mail kaneko@ndc.ac.jp  
デザイン学会 教育部会 URL <http://jssd.jp/modules/tinyd5/index.php?id=51>

テーマ デザインの基礎と基礎デザイン—大学教育における基礎という考え方を再考する

発表者 森 香織 (日本大学芸術学部デザイン学科)

日時 2012年6月29日(金) 18:00～20:00

会場 日本デザイン専門学校 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3

就職に就いて25年経ちますが、デザイン教育を取り巻く環境は激変し、デザインという言葉と概念は、造形や美術の分野における「もの」をクリエイションする行為を示す言葉から、企画設計構想など、情報や要素を集めてシステムを組み立てサポートしていく「こと」に移行しています。

PCの導入普及という環境の変化に留まらず、昨年の大震災や景気など諸々の社会状況を鑑み、大学教育として変えてはならず残していくものと、時代の必要性やテクノロジーの進歩、学生自体の変化に呼応して積極的に新しいものに変えていくものとを総括すべき時に来ていると考えます。

現在勤務している日本大学芸術学部デザイン学科は、この春、コース制を廃止してカリキュラムを一新し、入試方法も全く変え「デザインのできる人材」の発掘と教育に方向を変えました。その作業の過程を通じて「基礎」と一括りにしていても、「デザインを学ぶ為の入門編としての基礎」と「デザインという幅広い分野を学問として成り立たせる為の基盤の分野」について再考する必要性を実感しています。

併せて昨今、美術造形教育から出発したデザイン教育と、エンジニアリングのようにPCをツールとすることで他の分野から出発したデザイン教育が混在して来ています。また、日本の国自体がものづくり大国からクールジャパンのようなコンテンツ産業に活路を見出す方向にシフトしている様相は、デザイン教育に携わる者にとって立ち止まって再考せざるを得ない状況です。

日本大学の例や韓国でのデザイン基礎教育の変化の話、基礎デザイン学会で討論されている「基礎デザイン学」との関連や接点などを中心にお話させて頂く予定ですが、皆様が日頃感じていらっしゃる諸々の問題点と繋がりのあるテーマだと思います。私の問題提起をもとに皆様の忌憚ないご意見を伺えることで、教育部会からの発信のきっかけになればと思います。

[発表の構成]

- 1: 日本大学での新しい試み (芸術学部デザイン学科と生産工学部創生デザイン学科)
- 2: デザインの基礎と学問としての基礎デザイン
- 3: 将来に向けて、大学教育の中で残していくものと変えざるをえないもの

【会場へのアクセス】

日本デザイン専門学校 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3 <http://www.ndc.ac.jp/info/accessmap.html>

JR代々木駅または千駄ヶ谷駅 徒歩5分

都営地下鉄大江戸線代々木駅 徒歩5分

東京メトロ副都心線北参道駅 徒歩3分

問合せ 日本デザイン専門学校 金子武志 (教育部会・主査)

TEL03-3356-1501 E-mail kaneko@ndc.ac.jp